

---

# 礼儀作法

asaghi

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

礼儀作法

### 【Zコード】

N79710

### 【作者名】

asagiri

### 【あらすじ】

300文字で行いつ。

第14弾。

道で彼にばつたりと出会つ。  
挨拶をする一人。今より少しだけ未来の、良く有る日常。

ぱつたり。路上で彼に会った。

私のロボットの挨拶が早かつた。

彼のロボットが挨拶を返す。

“承認完了”のシグナル・ランプが淡い緑色に輝く。

そこでようやく、本人同士が、微笑み合う。

「久し振り。元気？」

「わー。吃驚した。」

マイ・ロボットを連れた二人は、その場で別れる。

良い天気。

通りを行く人々は皆、ロボットを連れている。

犬までが連れてい、訳では無く、お散歩モードだった。

赤いマフラーを首に巻いたロボットを見かける。幼馴染のロボット

だ。当然、本人もいる。

赤いマフラーは“現在、設定をリセット中”的サインだ。  
だから、挨拶しないで、すれ違う。勿論、向こうもそれで怒つたり  
しない。

礼儀作法とは、そういうものだからだ。

\* The End \*

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7971o/>

---

礼儀作法

2010年11月9日02時43分発行